

愛媛県への
問い合わせ先
寄附金申出先

愛媛県総務部総務管理局総務管理課
 住所 〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4番地2
 電話 089-912-2255 **ファクス** 089-921-6363
 Eメール soumukanri@pref.ehime.lg.jp
 ホームページ ふるさと愛媛応援サイト
<https://www.pref.ehime.jp/h10100/furusatonoze/right.html>
 ふるさとチョイス
<https://www.furusato-tax.jp/city/product/38000>
 ふるラボ <https://furusato.asahi.co.jp/city/detail/380008>



県外窓口
愛媛県東京事務所
 住所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目6番3号 都道府県会館11階
 電話 03-5212-9071 **ファクス** 03-5212-9072
愛媛県大阪事務所
 住所 〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1丁目9-1 肥後橋センタービル
 電話 06-6441-2829 **ファクス** 06-6441-2830



令和2年度 ふるさと愛媛応援寄附金 使いみちのご報告

～ふるさと納税への御協力ありがとうございました～

愛媛県では「ふるさと愛媛応援寄附金」として、全国の皆様に御協力をお願いしましたところ、令和2年度中に3,083人の方々から、4,053万5,600円の御寄附を賜りました。

この貴重な寄附金は、「愛顔(えがお)あふれる愛媛県」の実現のため、県産品のブランド力向上、地球温暖化対策の推進、子育て支援や救急医療体制の充実など、4分野14事業の財源として活用させていただいたところであり、皆様の御芳志に改めて感謝を申し上げます。

今後とも、皆様と愛媛との縁を大切に育んでまいりたいと考えておりますので、本県の発展に温かい御支援を賜りますようお願い申し上げます。

愛媛県知事 中村時広

県内の各市町への御寄附ありがとうございました。

令和2年度も、愛媛県への寄附とは別に県内の20市町に対しても多くの方々から温かい御寄附をいただきました。今後も引き続き、県内の市町への御支援よろしくお願いいたします。なお、寄附の方法や寄附金の活用内容など、詳しくはそれぞれの市町にお問い合わせください。

●各市町へのお問い合わせ先・寄附金申出先

市町名	課名	郵便番号	住所	電話番号
松山市	納税課	790-8571	松山市二番町4丁目7番地2	089-948-6850
今治市	営業戦略課	794-8511	今治市別宮町1丁目4番地1	0898-36-1554(内34307)
宇和島市	市長公室	798-8601	宇和島市曙町1番地	0895-24-1111(内2417)
八幡浜市	ふるさと納税推進室	796-8501	八幡浜市北浜1丁目1番1号	0894-21-0408
新居浜市	観光物産課	792-8585	新居浜市一宮町1丁目5番1号	0897-65-1261
西条市	地域振興課	793-8601	西条市明屋敷164番地	0897-52-1218
大洲市	企画情報課	795-8601	大洲市大洲690番地の1	0893-24-1728
伊予市	財政課	799-3193	伊予市米湊820番地	089-909-6385
四国中央市	政策推進課	799-0497	四国中央市三島宮川4丁目6番55号	0896-28-6005
西予市	まちづくり推進課	797-8501	西予市宇和町卯之町3丁目434番地1	0894-62-6403
東温市	総務課	791-0292	東温市見奈良530番地1	089-964-4400
上島町	総務課	794-2592	上島町弓削下弓削210番地	0897-77-2500
久万高原町	まちづくり営業課	791-1201	久万高原町久万212番地	0892-21-1111
松前町	総務課	791-3192	松前町筒井631番地	089-985-4103
砥部町	企画政策課	791-2195	砥部町宮内1392番地	089-962-7250
内子町	総務課	795-0392	内子町平岡甲168番地	0893-44-6151
伊方町	総務課	796-0301	伊方町湊浦1993番地1	0894-38-2655
松野町	ふるさと創生課	798-2192	松野町松丸343番地	0895-42-1116
鬼北町	企画振興課	798-1395	鬼北町大字近永800番地1	0895-45-1111(内2212)
愛南町	商工観光課	798-4196	愛南町城辺甲2420番地	0895-72-7315

愛媛県新型コロナウイルス感染症対策応援基金について

愛媛県では、企業や団体、個人の皆様からの御寄附を「愛媛県新型コロナウイルス感染症対策応援基金」に積み立て、医療や福祉など感染症対策全般の充実のために有効活用することとしております。詳細については、以下のURLからご覧ください。愛媛県総務管理課までお問い合わせください。
 ・愛媛県HP (<https://www.pref.ehime.jp/h10100/coronavirus/coronavirus-taisaku-kikin.html>)
 ・ふるさとチョイス (<https://www.furusato-tax.jp/city/product/38000>)



令和2年度に頂いた寄附金4,053万5,600円(3,083件)は、次の事業に活用しました。

▶ 生き活きとした愛顔あふれる「えひめ」づくり 活用金額 16,963,600円

新産業の創出と産業構造の強化

● 今治タオルの生産性向上

今治地域のタオル製造現場が慢性的に抱える労働力不足を解消し、限られた労働力の中で効果的、効率的な今治タオル生産体制を整備することを目的に、IoTを活用した製造工程管理システムの研究開発に取り組みました。パイル糸の使用量をリアルタイムで計測し、目視では判別困難なパイルの形成不良によるB級品をリアルタイムで判別できるようになりました。



製造工程管理システムの開発

● 県内産業のけん引役となる成長企業の創出

県内中小企業等の新製品開発のため、製造機械の購入や効率的な最新の加工機等の購入及びシステム構築費用など技術開発支援に対し、補助を行いました。
(令和2年度新規採択件数:6件)
(令和元年度採択継続件数:5件)



新製品開発のための製造機械の購入

愛媛産品のブランド力向上

● 愛媛あかね和牛の持続的な生産拡大に向けた生産基盤強化

本県が開発した「愛媛あかね和牛」の安定的な生産を図るため、繁殖から肥育・出荷に至る一貫生産体制の整備を支援した結果、持続的な生産拡大に向けた整備が進み、生産頭数が105頭(R2)へと増加しました。



愛媛あかね和牛

営業力の強化と市場拡大

● ITによる営業活動の推進

ポータルサイト「愛媛百貨選」の機能強化による県産品のブランド認知拡大や成約に繋がる問合せ件数増加のほか、ウェブサイトへのアクセス情報の分析、EC分野での販売力向上セミナー開催により、県内生産者や事業者のITによる営業活動を支援しました。



愛媛県産品ポータルサイト「愛媛百貨選」

魅力ある観光地づくりと国際観光の振興

● えひめ南予きずな博の開催に向けた準備

平成30年7月豪雨災害からの復興の後押し等を目的に、南予地域で開催する「えひめ南予きずな博」の実施に向け、実行委員会を設立しました。
～えひめ南予きずな博について～
テーマ:つながるきずな、ひろがるいやし
期間:令和4年4月下旬～12月 開催予定



えひめ南予きずな博ロゴマーク

自転車新文化の推進

● 「愛媛サイクリングの日」におけるイベント実施

県民が自転車に親しみ、サイクリングを楽しむことにより、サイクリストの裾野拡大や地域間の交流人口の拡大を図ることを目的に、県と市町が協働して創設した「愛媛サイクリングの日」において、各市町で開催されるサイクリング関連のイベントとの連携、広報、誘客促進などを実施しました。



愛媛サイクリングの日

▶ やすらぎの愛顔あふれる「えひめ」づくり 活用金額 10,173,000円

地域を支える人材づくり

● 移住者の受入体制の強化

移住相談にワンストップで対応する「えひめ移住コンシェルジュ」の設置や、移住フェアのオンライン開催により、積極的に情報発信を行うなど、活力ある地域社会を維持するため、地域の担い手となる移住者の呼び込みを図っています。



移住に関するパンフレット

救急医療体制の充実

● ドクターヘリの安全かつ効果的な運航体制の構築

平成29年2月に運航を開始したドクターヘリについて、安全かつ効果的な運航体制を構築するため、散水等が不要で迅速に離発着可能な専用ヘリポートの整備に対する助成を行い、令和2年度は9箇所の整備を支援しました。なお、令和2年度は、290件の出動があり、運航開始以降、消防機関等との訓練や症例検討会等を重ね、より効果的・効率的な運航に努めています。



ドクターヘリ

防災・危機管理体制の充実

● 防災士の養成による地域防災力の向上

自主防災組織における防災活動の中心的な役割を担う「防災士」を養成するため、11回(松山、今治市、宇和島市2回、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、四国中央市、松前町、久万高原町)、1回当たり2日間の愛媛県防災士養成講座を開催しました。また、企業や各種団体、社会福祉施設の職員を対象とした愛媛県防災士養成講座を3回(東予、中予、南予)開催しました。



自主防災組織対象講座

▶ 輝く愛顔あふれる「えひめ」づくり 活用金額 6,782,000円

安心して産み育てることができる環境づくり

● 地域の強みを活かした官民協働による子育て支援

市町(独自事業を実施する四国中央市を除く)と、県内に拠点を有する紙おむつメーカーである花王株式会社、大王製紙株式会社、ユニ・チャーム株式会社との官民協働により、第2子以降を出生した約4,400世帯に紙おむつ製品の購入に利用できるクーポン券「愛顔っ子応援券」(50,000円分)を交付し、令和3年2月末までに約215,000枚が利用され、紙おむつの購入支援を通じて、出生数の増加を図るための子育て世帯への経済的支援を行いました。また、県内企業が生産した製品を在住市町の店舗で購入する仕組みとすることで、地域産業の振興、地域経済の活性化にもつながりました。



紙おむつの購入支援

競技スポーツの振興

● 四国インターハイ開催に向けた推進体制の整備

令和4年度に開催する四国インターハイに向けて、会場地市や関係団体等で構成する県準備委員会を設置し、本県開催8競技の会場選定をはじめ、各分野の方針・計画等の策定など、多岐にわたる開催準備を円滑に進めていくための推進体制の整備に努めました。



競技会場候補地視察

▶ やさしい愛顔あふれる「えひめ」づくり 活用金額 6,617,000円

地球温暖化対策の推進

● 気候変動影響や適応策の調査・研究

県内の農林水産団体や県民から、身近に感じている気候変動の影響や実践している適応策などに関する情報を収集・整理・分析し、本県の気候変動影響や適応策を取りまとめるとともに、市町や企業担当者向けのセミナーの開催や、県民向けのリーフレットの作成などによる普及啓発を行ったほか、動植物に対する気候変動影響の調査を行いました。



気候変動影響調査・研究

環境への負荷が少ない循環型社会の構築

● プラスチックごみ削減に向けた調査及び普及啓発

海洋プラスチックごみの効果的な削減を図るため、県内7カ所におけるマイクロプラスチックを含む漂着ごみと漂流ごみの実態調査のほか、河川から海域へのプラスチックごみの流出状況等の調査を実施しました。また、海洋ごみをテーマとする環境学習会に合わせ、海岸清掃を行うビーチクリーン活動イベントやプラスチック資源循環の徹底等と呼び掛けるシンポジウムを開催しました。



漂着ごみの実態調査

● 食品ロスの削減

食品ロス問題は、国際的に重要な課題であるため、県内における家庭系及び事業系の食品ロス実態調査を実施するとともに、消費者、事業者、関係団体、行政等が連携し、オール愛媛で食品ロス削減に取り組む計画を策定しました。また、家庭等で発生した余剰食品(食品ロス)を持ち寄り、フードバンク活動団体が子ども食堂や福祉施設に提供するフードドライブを実施しました。



フードドライブの実施